

テーマ

## 『広めよう地域教育協議会』

守ろう地域の宝 育てよう故郷を愛する子どもたち

目標

- ・教職員、役員だけではなく、地域住民にも当協議会の活動を知ってもらう
- ・各校園の人材バンクを地域として集約し、活用できるようにする

## 今年度の取組紹介

## 《広報紙「京チユン通信」の発行》

本協議会及び各校園の活動・取組を京西中学校区の住民の方に広く認知していただく為に、学期に1回（年3回）、広報紙「京チユン通信」を作成し、自治連合会の協力を得て校区全戸（約8000戸）へ配布しました。



## 《史跡散策&amp;清掃作業》

「育てよう故郷を愛する子どもたちに」のテーマに基づき、史跡掲載校区マップをもとに校区内の史跡を散策し、合わせてゴミ拾い等の清掃活動を実施しました。

6月(第3回)唐招提寺、養天満神社、墨の資料館で実施し、大人子ども合わせて約120名参加があった。11月(第4回)喜光寺、菅原神社菅原はにわ窯公園で実施して約80名の参加がありました。



## 《各校園の教育活動の支援》

環境美化活動、学習活動の支援、図書館ボランティア等、各校園が必要とする支援を行いました。

## 今年度のまとめ

昨年度より実施した「史跡散策&清掃活動」が少しずつ地域に浸透し、全体としては参加者も増えたが、中学生の参加が少なく課題も残りました。

各校園が必要とする学校支援型の取組として、環境美化活動、授業支援(調理実習・職場体験・福祉体験)、放課後学習、図書館運営支援等を実施した。まだまだ手探りの状態であるが、小学校の校区を越えて中学校区全体として支援活動ができつつあります。

年3回発行した広報紙「京チユン通信」とホームページにより協議会の活動内容及び各校園の教育活動の様子を校区住民の方々へ知らせることができました。

## 来年度に向けて

ボランティアの確保や広報活動の取組を推進し、学校支援を前提とした子どもたちへの関わりを一層充実していく。具体的には、各校園の年間行事予定を月別カレンダーにまとめ、コーディネーターのサポートが必要な場面で必要な支援を実践していきます。

校区史跡マップには、まだまだ多くの歴史的史跡があり、「史跡散策&清掃活動」を第5回、第6回と実施し、歴史ある地域を大人も子ども一緒に学ぶと共に「わが街」を美しくします。

テーマ

## 『クリーン＆グリーン大作戦』

目標

学校をみどりに ころを豊かに 挨拶が響き合う学校に

- ・校内美化及び緑化に努め、豊かな人間性を育てる
- ・地域の方々から生き方を学ぶ
- ・「挨拶が響き合う学校」から「挨拶が響き合う校区」を目指す

## 今年度の取組紹介

豊かなころを育て、共に支え合いお互いをたいせつにできる生徒を育てるため、なかまから学ぶことはもちろんのこと、地域の方々とはさまざまな場面で交流を深め、生き方をはじめ、多くのことを学ぶ取組を行いました。

## ○花いっぱい事業 プロジェクト「ひまわり」「チューリップ」

「ひまわり」については、保護者ら地域の方の協力で 2,000 株の植え付けを行い、校内への定植はもちろん、校区の西の京高校・東養護学校・小学校・幼稚園・保育園や地域の方々へ苗を配布しました。



## ○ふれあい美化作業

保護者や地域ボランティア、卒業生(添上高校生)の協力を得て生徒とともに校内除草作業、運動場側溝清掃、大きくなった樹木の剪定を実施しました。

## ○福祉体験学習

車いす体験(1年)や高齢者疑似体験学習(3年)などに、地域の方々によるボランティア協力隊を組織していただき学習支援を得ました。



## ○第7回京中オープンスクール

「学ぼう地域の方々から・考えよう生き方」をテーマに地域の方々を中心にゲストティーチャーを招き、26 講座を開講した。

また、午後の生き方講演では、植村牧場の黒瀬礼子さんに「共に働き共に生きる ～小さな町の牧童たち～」と題して熱く語っていただき、人権・福祉について考えました。

## 今年度のまとめ

地域コーディネーターを中心に学校教育活動の支援を少しではあるが広げることができました。PTA やボランティアの協力を得て校内環境整備・美化、学習支援、図書館運営支援、第7回オープンスクール等を実施しました。生徒にとって地域の方々とはさまざまな場面で交流を深め、生き方をはじめ、多くのことを学ぶことができました。また、心から挨拶できる生徒も増えました。

## 来年度に向けて

地域コーディネーターの協力でボランティアの裾野をひろげるとともに、人材バンクを整備します。ボランティアの支援を得て、放課後学習を充実していきます。花いっぱい活動「プロジェクトひまわり」を学校から地域へより一層広げます。

テーマ

## 地域とふれ合い、学び合い

目標

さまざまな学習の場面で、地域の方々にそれぞれの能力や技能を生かし、安全で効率的に学習活動ができる

### 今年度の取組紹介

- ◆今年も、地域の方々にご支援をいただいたおかげで、児童が安心して学習に取組ことができました。



- ◆5年生の総合的な学習「世界遺産見学」では、地域にお住まいで民生児童協議会会長さんを中心としたボランティアの方々が、熱心に携わってくださいました。事前の打ち合わせから当日の説明案内、終了後の児童の様子までお伝えくださり、学校から離れたときの六条っ子の良さが改めて見えました。
- ◆図書ボランティアの皆さんの活動が、児童の読書環境を前年度に比べ、さらにバージョンアップして整えてくださいました。委員会の活動も一緒にしていただきました。
- ◆今年の2学期から、新たに「家庭科実習サポートボランティア」を立ち上げ、調理実習やミシンを使った裁縫実習に携わってくださいました。

### 今年度のまとめ

- 今年度の「家庭科実習サポートボランティア」は、児童のみならず、家庭科に関わる教員も安心して『安全な教育活動（実習活動）』に取り組めました。例えば、ミシンを使う裁縫活動では、返し縫いをはじめ糸通しや機械調整など児童の目線に立った親身なサポートをしていただきました。  
安全に配慮していただきながら、できるだけ児童自身の手で仕上げるように教えていただき、できあがったときの児童の笑顔が印象的でした。また児童は「家庭科実習サポートボランティア」さんが、ご都合で来校されないときには残念がっており、改めて児童と一緒に安心して安全な授業をつくり上げてくださっていたことに感謝しました。

### 来年度に向けて

- サポーターさんにご支援いただく教科が限られているので、もっと幅広く教科学習の時間に地域の皆さんをゲストティーチャーとして参加してもらえそうな呼びかけをしていきます。そして、「日々の学習や生活の中に、地域の方の応援があること」をホームページを活用して、リアルタイムに知らせていきます。

テーマ

**かしこく なかよく たくましく**

目標

**伏見南で学んだことを誇れる子の育成～見つけよう 今の自分 未来の自分**

## 今年度の取組紹介

伏見南で学んだことを誇れる子の育成のために、自ら進んで地域を知り地域のすばらしさを学習することが大切であると考えました。今年度も地域の方をゲストティチャーとしてお招きし、学年ごとに地域学習を行いました。2年生では、「町探検～まちのすてきを見つけよう」を自ら調べたい仕事を選び、地域の方から教えていただきました。地域とともにキャリア教育を進め、生きる力を育むように取組ました。

「伝え合い学び合う授業作り」の取組を地域の方と共に進めました。4年生の総合的な学習の時間では、発表会に保護者や地域の方を招いて、「平城宮跡」について学習したことをわかりやすくまとめて発表しました。保護者や地域の方に説明の仕方をほめていただき、子どもたちは大変喜んでいました。

「豊かな心・人間関係力の育成」の取組として、特別支援学級で「ひまわり遊園地」を開きました。確かな勤労観を身につけることを目標にアトラクションの準備・運営をキャストとして責任をもって担当し、お客のもてなし方を学習しました。実習として1年生や保護者・地域の方をお迎えし、「楽しかったよ。」などと感想をいただきました。



町探検 事業所訪問



平城宮跡探検隊



ひまわり遊園地

## 今年度のまとめ

『図書室でかしこく・地域学びあいタイム』では、地域の方と共に図書室活用型学習を展開することができました。地域の方と共に『干し柿作り』・『花いっぱい運動』・『球技大会』など体験的な活動を通して、子どもたちの『道徳的実践力』を養い、『自己肯定感』を高めることができました。「豊かな心・人間関係力の育成」を目指し、地域の方と共にキャリア教育の視点から様々な学習場面で体験的な活動を展開しました。児童健全育成推進協議会（愛称：なかよし会）やPTAOB会・万年青年クラブのみなさんのご協力を得て、登下校の安全見守り活動を推進することができました。

## 来年度に向けて

中学校区で目指す子ども像『自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども』を実現するために、学習面では「学習習慣を身につけ、自ら学び考えようとする子」「自分の思いや考えを相手に分かりやすく表現できる子」、生活面では「心のこもった挨拶ができる子」「相手を思いやり、コミュニケーションがとれる子」を目指し、「豊かな心・人間関係力の育成」に取組でいきます。



テーマ

**豊かな体験が広がる環境の創造**

目標

**自ら考え、最後までやり抜く子ども**

## 今年度の取組紹介

継続している「菜の花プロジェクト」は、菜の花を育て油を搾って世界遺産の薬師寺と唐招提寺に灯明として奉納し使っていただいた。保護者や地域の方、NPOの方たちと子どもたちの世代間の交流をしていながら互いに思いを受け止めたり、疑問を解決したりしながら最後までやり抜く喜びを味わい「受け継ぐ」ということを体験しました。また、子ども、保護者、地域の方と一緒に取組でいくことは、幼稚園教育を理解していただくと共に世界遺産のある町「奈良」に生まれ、「六条」で育ち学んでいることを誇りに思う気持ちをもてると考えています。

今年度は、日本の伝統であるお茶会を実施し、子どもたちは、たくさんの方から優しく教えていただいたことで初めてのことも意欲や自信を持って取組ことができました。



## 今年度のまとめ

地域の方が、「菜の花プロジェクト」とは、どんなことをしているのだろう。と、菜の花の刈り取りから油の奉納が終わるまでの取組に参加されたことで、奈良の良さを再確認すると共にとても貴重な体験であることや普段と違う子どもたちの雰囲気や真剣な表情にも感心されています。年々参加される方も増え、子どもたちも顔見知りの方と出会えたことに喜び「ここで一緒にしよう。」「おばちゃん、元気やった。」と、自分から気軽に話しかけたり、地域の方に教えられたりすることで自信を持って取り組んでいた。初めて「菜の花プロジェクト」に参加される地域の方も子どもたちが話しかけたことで、ホッとされ会話が弾み「子どもたちから元気をもらいました。」「子どもたちに『また、会おうね。』と、言ってもらってうれしかったです。」と、喜んでおられた。また、幼稚園に来たいという思いをもたれたことと思います。

地域の個々の教育力を活かし、絵本の読み聞かせや運動遊びなどの継続している活動は、子どもたちの生活に浸透しています。今年度から、お茶会と折り紙で遊ぼうを実施して、優しく教えてもらったり、自分を大事にしてもらったりする喜びを味わっていました。子どもたちや保護者の方も他ではできない体験なので来年度もぜひ行ってほしいというアンケート結果がありました。



## 来年度に向けて

- ・地域の自然環境や文化・世界遺産などに触れる機会を通して、豊かな体験の中で最後までやり抜く子どもを育てる。
- ・六条らしさを推進し、保護者や地域の方との協力体制を強化する。

テーマ

## いきいき輝け！笑顔いっぱい！伏見南っ子

目標

いろいろな人や身近なものとのかかわりを通して、  
心豊かでいきいきと活動する幼児を育てる

### 今年度の取組紹介

生活様式の変化や人やもの、環境とのかかわりの希薄化により、幼児は入園するまで家庭内で過ごすことが多く経験が乏しい。そこで、地域の方や近隣校園と交流して、温かな心にふれ、思いやりの気持ちや人とつながる喜びを味わうことで感動体験を積み重ね、心豊かでいきいきと活動できるよう計画を立て実施してきました。

本年度は、ふれあいに重点をおき、地域コーディネーターと連携を取りながら、様々な感動体験ができるように計画・実践をしてきました。

地域コーディネーターの協力を得て、小学校でも活躍されている茶道の先生にきていただき、日本の伝統文化に触れる機会を昨年度より続けています。園児は、保育の中では感じることでできない緊張感と初めての『お茶を点てる』と言う活動に、真剣に取り組むことが出来ました。また、保護者に自分が立てたお茶を飲んでもらうという喜びも味わうことが出来ました。保護者の方も参加し作法を教えることで、「なかなか家ではできない体験ができた」「子どもが点てたお茶が嬉しかったです」と、感想をいただきました。



未就園児保育『すくすくクラブ』では、地域の方の協力のもと、家庭と園、未就園児と在園児とのかかわりをつなげている。園の雰囲気を感じ、教員や地域の方と活動する中で基本的な生活習慣を身につけたり、在園児と一緒に遊んだりダンスをしたりして、ふれあいを楽しんでいます。「幼稚園ってこんな遊びができるんですね」「年長さんに近所の子がいてるんです」など、幼稚園を知っていただく良い機会となっています。



環境整備では、コーディネーターと一緒に花植えをし、自分たち園内をきれいにしたり、地域の方の力をお借りして、草刈りをしていただいたりしました。「草がなくなって、きれいになった」「ありがとうございます」と、身近な方々に感謝する気持ちも育ちました。

### 今年度のまとめ

子どもたちは、身近な人たちとふれあい、かかわることで、愛情を感じ心弾む時間を過ごすことができました。また、地域の方、保護者の方の協力を得ながら、様々な感動体験を積み重ねてきたことは、今後の心の基盤になっていくのではないかと思います。

### 来年度に向けて

園児が、身近な人とかかわり、豊かな経験を積み重ねていけるように、コーディネーターや地域の方と連携して計画し、園活動の充実に向けて取組でいきたいと思っております。